9.3 民間企業等による再エネ主力化・レジリエンス強化促進事業
〈新たな手法による再エネ導入・価格低減促進事業／建物における太陽光発電の新たな設置手法活用事業〉

①ソーラーカーポートの新設による災害対策強化と集客力向上

事業概要

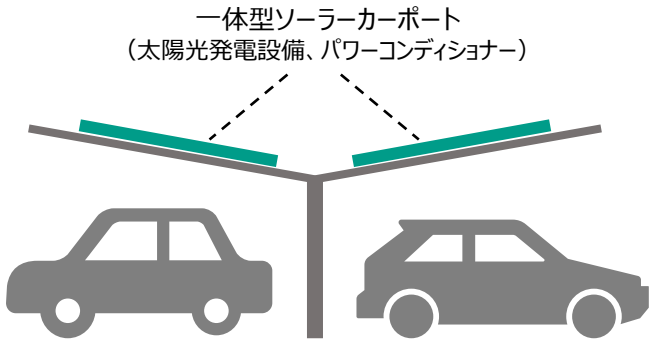
事業者概要	事業者名	株式会社アイリスプラザ
	業種	卸売業／小売業／宿泊／飲食店
事業所	所在地	埼玉県
	総延床面積	4,240m^2
補助金額	補助金額	約1,380万円
	補助率	1/3
主な導入設備	従前設備	なし（新設のため）
	導入設備	一体型ソーラーカーポート （太陽光発電設備、パワーコンディショナー）
事業期間	稼働日	2024年3月
区分		新設
特長		ソーラーカーポートの導入により、日中に太陽光発電設備による電力供給が可能となり、停電時の臨時電源を確保できた。また、日よけができたことにより、猛暑日や雨の日の来客が増加した。

システム図

実施前

なし

実施後



写真

ソーラーカーポート



パワーコンディショナー



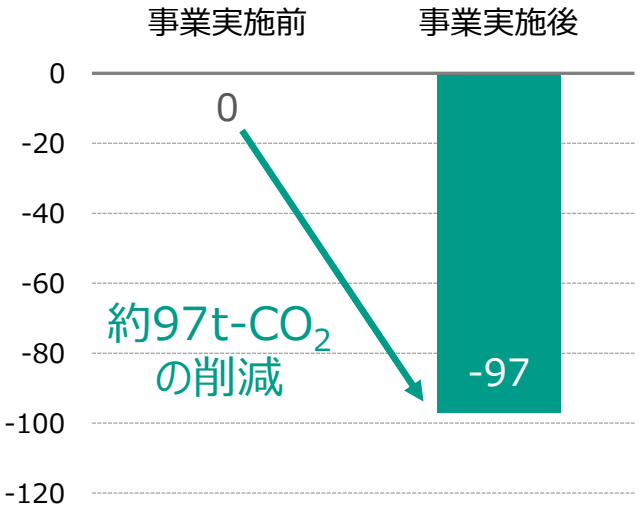
①ソーラーカーポートの新設による災害対策強化と集客力向上

事業の効果

エネルギーコスト削減額		約363万円／年
投資回収年数	補助あり	約8年
	補助なし	約11年

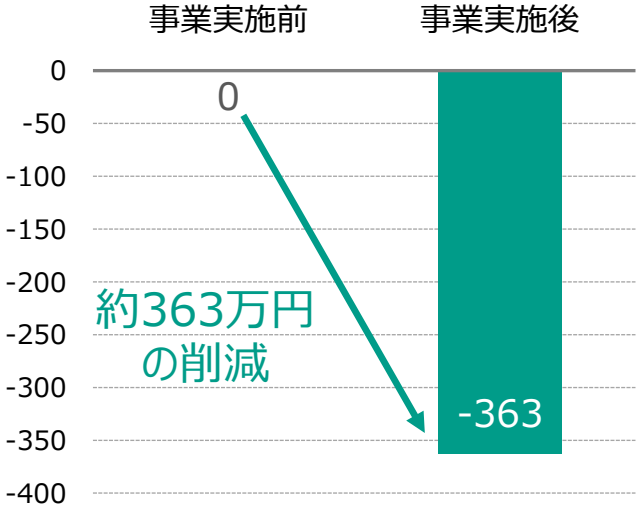
CO_2削減量	約97t-CO_2／年
CO_2削減コスト	8,394円／t-CO_2

CO_2排出量（t-CO_2／年）



太陽光発電設備の導入により、事業実施前と比較して、電力消費分のCO_2排出量が大幅に削減された。

エネルギーコスト（万円／年）



太陽光発電設備の導入により、電力購入費用が削減された。

【脚注】
※ ここに示す事業の効果は、電力単価：21.7円／kWh（出典：電力・ガス取引監視等委員会HP）を用いて試算したものである。

①ソーラーカーポートの新設による災害対策強化と集客力向上

事業によって実現できたこと／事業前にあった課題及びその解決方法

■ 「ソーラーカーポートの新設」によって、CO_2削減以外に、以下のような副次的効果があった。

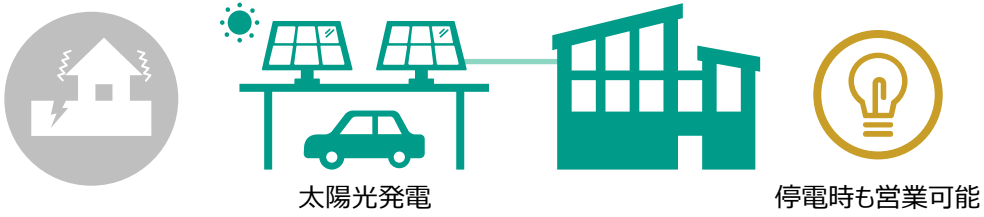
- 停電時、日中の太陽光発電による電力で最低限の店舗機能の維持が可能となり、ホームセンターとして地域の災害対策の強化につながった。
- 駐車場全体の1/3にソーラーカーポートを設置した結果、本設備の日除け効果により、猛暑日や雨天に荷物を積み下ろす際の利便性向上と、来客増につながった。

停電時の臨時電源確保

実施前 停電時は電力が利用できない



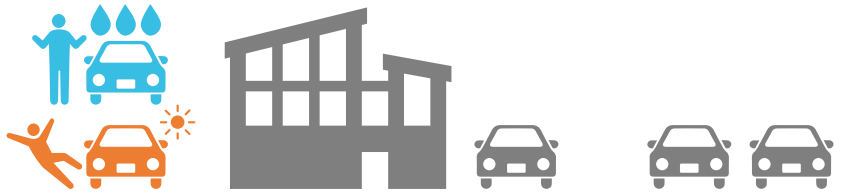
実施後 停電時も最低限の電力が供給され、店舗機能の維持が可能



太陽光発電設備の設置により災害対策を強化できた。

厳しい天候下での来客増加

実施前 猛暑日や雨天時は客足が遠のきやすい



実施後 ソーラーカーポートの屋根により、来客が増加



ソーラーカーポート設置による日陰・屋根効果により、猛暑や雨天時の来客が増加した。

①ソーラーカーポートの新設による災害対策強化と集客力向上

事業の経緯／今後の予定

2022.10	2022.12	2023.7	2024.2
情報入手	**決議**	**申請**	**完成**
補助事業について親会社経由で情報入手。2社見積りにて事業検討。	社内決議にて補助事業へ申請を決定。施工業者と契約締結。	補助事業へ申請。	約2か月間の工事を経て運用開始。

事業者の声



宇野　一隆
株式会社アイリスプラザ　管理部 店舗開発担当マネージャー

- 補助事業を前提に、店舗駐車場にソーラーカーポートの設置を検討。
- 年間発電量170,770kWhのほぼ100%を自家消費に利用し、店舗の電力自給率は24.1%、電気料金は約30%削減。
- SDGsの取組みは以前から進めていたが、来店されるお客様に弊社取組みが分かり易く伝わる今回の事業は、宣伝効果も大きいと考えている。
- 一方で、1995年開業の店舗に設置したため、自治体から緑地面積やバリアフリー設備が既存不適格との指摘があり、現行規定に適合させるための整備に苦労したが、店舗の環境整備に繋がったことから前向きに捉えている。